

外国人の暮らしの中のケア ライフと健康

*ソーシャルディスタンスに配慮
します。必要時、マスクの着用、
手指消毒などにご協力ください。

静岡県では在住外国人が増えています。65歳以上の外国人も増えています。

地域に住む外国の方が、必要な介護や福祉、医療につながることは、大切なことです。

ことば、習慣、文化、経済、制度の違いがあります。また、長く日本で暮らしている、日本での暮らしが短い、学んでいる、働いている、結婚した、子供がいる、夫婦2人になった、一人暮らしになったなどの外国人がいます。

外国人高齢者を支援するためには、外国人専門職の育成やネットワークづくりが大切になりそうです。外国人高齢者を支援する、あるいは、元気な外国人高齢者が高齢者を支援する、ケアする-ケアされる地域づくりが大切になりそうです。外国人高齢者の健康やケアには、それまでの外国人の暮らしと関係がありそうです。

今回は、日本で暮らす外国のこども達、若者の健康やケアから、外国人高齢者の健康やケアまでを、地域の皆様と共に学び、考え、話し合う機会となればと思います。同じ地域に住む皆様のご参加をお待ちしています。

□■ 日時 ■□ 2024年12月22日(日)13:30~15:00

□■ 会場 ■□ 静岡市地域福祉共生センター

「みなくる」地域交流スペース(南部図書館2階)

住所:静岡市駿河区南八幡町3番1号

https://www.city.shizuoka.lg.jp/074_000106.html

□■ 対象 ■□ 地域の皆様。一般の方、保健・医療・介護・福祉に携わる方、外国の方、医療通訳経験者、外国人医療に関心のある方、教育関係の方等。30名くらい

□■ 参加無料 ■□

□■ お申込み・お問合せ ■□

下記のE-mailにて、お申し込みください。

「お名前」と「連絡先」を教えてください。

maeno@u-shizuoka-ken.ac.jp

静岡県立大学看護学部 講師 前野真由美

□■ 講演内容 ■□

1-1. 静岡県民はどこで最期を迎えているか？

静岡県立大学 看護学部 助教 植田春美

1-2. 静岡県の外国人高齢者はどこの国籍が多い？

静岡県立大学 看護学部 講師 前野真由美

2. 外国人の健康・在留資格・医療アクセス -DV事案等から考える

法テラス愛知法律事務所 弁護士 河野優子

3. ブラジルルーツの福祉職として考える外国人高齢者のケア -静岡県内にて介護職で働いた経験から

新宿区社会福祉協議会

社会福祉推進員 宮城モニカユカリ

□■ 話し合い ■□

□■ 外国人の暮らしの中のケア 研究メンバー ■□

静岡県立大学看護学部 前野真由美、鈴木郁美、植田春美、国際関係学部 高畑幸、宮崎晋生、経営情報学部 上野雄史、短期大学部社会福祉学科 安瓊伊、こども学科 永倉みゆき、歯科衛生学科 中村和美、静岡市駿河区小鹿豊田地域包括支援センター 岩崎圭介、菊川シール工業株式会社健康管理室 原華代、常葉大学 堀内アリッセ泉、東豊田地区民生委員 堀田康雄、インドネシア通訳・翻訳 エフィ グスティ ワフユニ、えのもと循環器科・内科 榎本信雄

7言語 在住外国人の終末期(もしものとき、エンディング)ケア「みせてお話し」ノートは、こちらよりダウンロードできます。↓大学HPです。



-新型コロナウイルス感染症拡大防止対策-9言語の健康チェック表は、こちらよりダウンロードできます。↓大学HPです。



協力:静岡市地域福祉共生センター「みなくる」